

# 中小ホテル AIで応援

## 民泊に対抗 スタートアップに商機

スタートアップ企業が中小ホテルや旅館の業務見直しを支援する。人工知能(AI)やクラウドソーシングで業務の時間短縮や人手不足に対応する。民泊解禁で中小宿泊施設は苦戦が予想されるが、スタートアップ各社は商機と捉え、外国語対応を省力化したりすることで訪日客などの取り込みを促す。

## 料金設定短時間で

## 空の「ホテル番付」多言語案内ツール

ホテル建設が相次ぐ大阪の「加藤正明副総支配人は「毎日90分ほどかかる料金設定の業務」



空の「ホテル番付」は料金設定など運営の効率化につながる

ホテル経営分析ツールを手掛ける空(東京・渋谷)が開発した。ネットで公開されている全国1万軒以上のホテルや旅館の宿泊料金や予約状況などを自動収集できる。ホテル側は価格や稼働率を手軽に比較できる。ホテル番付は昨年8月のサービス開始以降、導

入するホテルや旅館が1000を超えた。空は日本全体で約5万軒あるホテル・旅館の1割にあたる5000施設との契約を目指す。松村大社長は「IT(情報技術)で経験や勘に頼っていたホテル業界を支援できる」と力を込める。

人手不足が深刻なホテルや観光業界で訪日観光客への対応として利用が広がっているのがチャットボット(自動対話システム)だ。英語圏や中国圏からの観光客がスマートフォン(スマホ)から母国語で問い合わせができる「コンシェルジュ」の役割を果たす。

## 省力化の取り組み活発

ホテル業界ではエイチ・アイ・エス(HIS)が接客や清掃をロボットに代行させる「変なホテル」を多店舗展開するなど、省力化への取り組みが活発になってきている。しかし中小宿泊施設はIT化が遅れている。全国中小企業取引振興協会の2016年調査によると、調達や生産、販売などに関する宿泊業のIT導入率は3割弱、商取引や受発注では1割程度にとどまる。予定管理に使うクラウドウェアの利用率は1割に満たない。

宿泊施設の効率化を支援する国内外のスタートアップ企業名と事業

企業名	事業
メトロエンジン	客室単価設定ソフト。予約状況やレビューなどを基に宿泊客の予約行動をAIが解析
ファストジャパン	ホテル予約も可能なチャットボット「タビコ」。英語と中国語に対応
アリス(米)	ホテルの運営管理システム。旅行予約サイト大手のエクスペディアなどが出資
ホテルフレックス(米)	ホテルの予約管理。チェックインやチェックアウト時間に応じた料金設定で稼働率を上げる
ズズ(シンガポール)	中小ホテル向けの運営管理ソフト。アジアを中心に展開、コンサル業務も手掛ける

## 障害者の就労支援サイト

### LITALICO 事業所を紹介

LITALICO(リタリコ)は障害者の就労支援事業所を検索できる情報サイト「LITALICO 仕事ナビ」を3月に開設する。自社運営の事業所に加えて、全国の事業所を紹介する。事業所探しを支援するとともにIT(情報技術)対応が遅れる業界全体の底上げを図る。

サイトは事業所の場所や登録者数など基本情報を掲載。就職者数や定着率といった実績も任意で紹介する。掲載の初期費用はゼロだが、掲載後の問い合わせ件数などによって料金が発生する。民間企業の求人情報の掲載も検討する。事業所は現場の支援員が病院などから就業希望者の紹介を受けるのが一般的。小規模事業所にとってはウェブサイトにネット広告を活用しよう

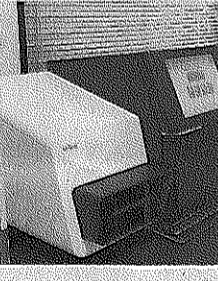
## 子宮内の善玉菌検査

### 産婦人科向けの臨床検査

産婦人科向けの臨床検査受託会社バリノス(東京・品川、桜庭喜行社長)は2018年度内にも子宮内の善玉菌を調べるサービスを広げる。善玉菌が極端に少ないと不妊の原因になる。事前に状態を知り抗生物質などを投与すれば、不妊治療に役立つ可能性がある。分析工程を自動化して取扱

## 不妊治療に役立つ可能性

最新の分析装置で子宮内の細菌を分析して種類を特定する



の細菌についても、菌の種類と存在比を推定して提示する。不妊治療を検討する際の材料として活用してもいい。独立系ベンチャーキャピタルのエンジェルブリッジ(東京・港)から1月に2億円を調達した。DNAの配列を調べて細菌の種類を特定する工程を自動化できる。5日ほどでデータ解析できる。処理できる検体は8倍の400個となる。日本では体外受精の件数が年40万件超と世界でもトップ級だが、採卵1回当たりの成功率は10%未満と世界平均(20%)に満たない。担当者が現地調査時にタブレットで画像を撮影するだけで、自動的に見積もりや図面を作成。クラウド上の管理システムと連動し、見積もりや問い合わせればそのまま契約や代金決済もできる。

## 独立系VCのスパイラル

### 第1号ファンド70億円

独立系ベンチャーキャピタル(VC)のスパイラル・ベンチャー・シヤパン(東京・港、奥野友和代表パートナー)は総額70億円の第1号ファンドを組成した。ファンドにはセイノーホールディングスやアシックス子会社などが初めてVCファンドに出資し、独立系VCが日本企業に投資する第1号ファンドとして過去最大級だ。スパイラルは人工知能(AI)やあらゆるモノがネットにつながる「IoT」など最新技術を用い

## 増資で4億円超調達

### ZEALS、開発部門増員

インターネット広告のZEALS(シールズ、東京・品川、清水正太郎代表)が第1号ファンドで当時で最大規模の50億円を調達しており、これを上回る。インターネット広告はベンチャーキャピタル(VC)のジャフコとネット広告のフリークアウット・ホールディングスカら約4億2千万円を調達

## 米国の大型税制改正

### 日本企業への影響を考える



#01 EY税理士法人 統括代表社員 網野 健司氏に聞く

短期と中長期に分け

